サンキライ

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は偏圧された不整円柱形を呈し，しばしば結節状に分枝し，通例，長さ 5～15cm，径 2～5cm である．外面は帯灰黄褐色～黄褐色で，上面のところどころにこぶ状の茎の残基がある．横切面は不整楕円形～鈍三角形を呈し，類白色～帯赤白色で，皮層は極めて薄く，ほとんど中心柱からなる．

本品はわずかににおいがあり，味はほとんどない．

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，コルク層は 2～3 細胞層で，皮層は極めて狭く，通例，2～4 細胞層の細胞壁の厚い柔細胞からなり，ところどころに大きい粘液細胞を認める．粘液細胞中にはシュウ酸カルシウムの束晶を含む．中心柱は主として柔組織からなり，維管束が散在する．柔細胞はでんぷん粒を含む．でんぷん粒は多くは単粒で，ときに 2～4 個からなる複粒を混じえ，単粒の径は 12～36μm である．